

知的資産経営報告書

2019年

株式会社陣内運送



目次

1	ごあいさつ.....	1
2	会社概要.....	2
3	沿革.....	3
4	私たちの価値観.....	4
6	私たちを取り巻く環境.....	5
7	お客様への提供価値.....	6
8	私たちの「よかところ」.....	7
	（1）人的資産（人そのもののよかところ）.....	7
	（2）組織・技術資産.....	8
	（3）風土資産.....	9
	トピック～遺品整理事業～.....	9
9	将来の価値ストーリー.....	10
10	私たちの責任.....	11

1 ごあいさつ

当社は、1963年の創業以来、55年以上に亘り地域産業である家具の配送を行ってきました。私たちの仕事は、作り手と買い手を繋ぐ重要な仕事です。

創業者の陣内正幸は、高度成長期中「先義後利」という念（おも）いで会社を立ち上げました。そして、その「念い」は、私たちの心の中に受け継がれ続けています。

私たちは、普段の生活で社会から色々な「モノ」を提供して頂いております。それに恩返しするためにも、事業を通し社会のお役に立てるよう尽力いたします。

そしてなにより、当社はお客様やお取引様があるからこそ事業が行えております。そのようなお客様、お取引様と共に成長・発展できる会社であるために、当社はこれからも挑戦・イノベーションを図り未来へ続く企業になります。

株式会社陣内運送

代表取締役 陣内 正明



1983年頃撮影

2 会社概要

社名	株式会社陣内運送
代表者	陣内 正明
創業	1963年
所在地	佐賀県佐賀市諸富町徳富691番地5
従業員数	正社員22名、パート3名
業種	一般貨物運送業
主力商品	家具運送業 信州地区 中部地区 関西地区 九州地区 家具宅配事業 3PL事業 ¹



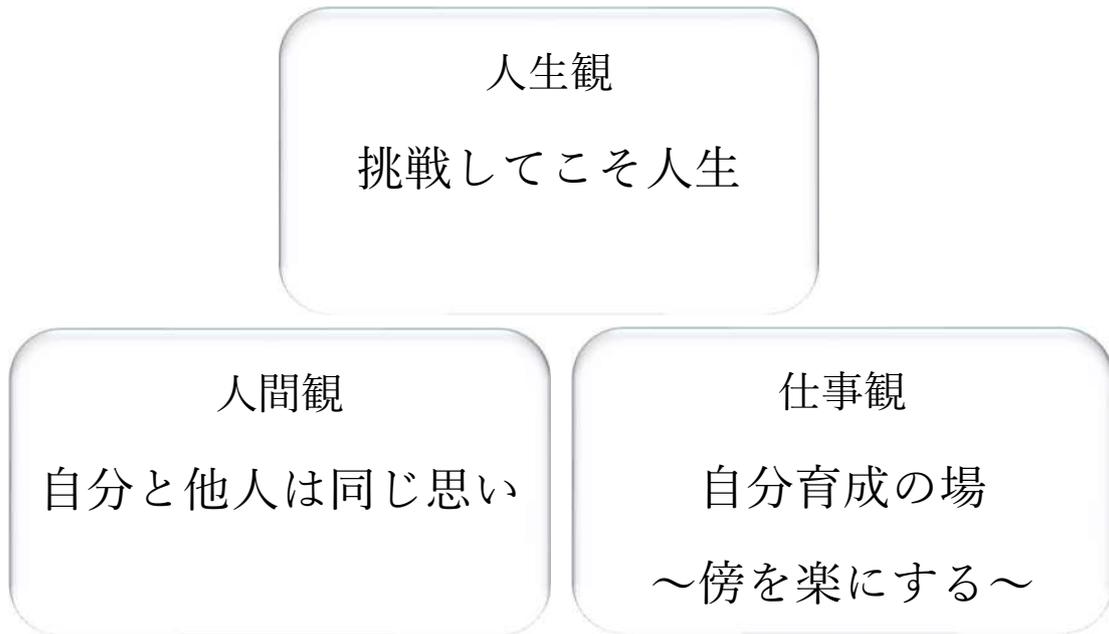
¹ 3PL (サードパーティロジスティクス) …コアコンピタンスに集約した経営を指向する企業が、企業戦略として、物流機能の全体もしくは一部を、第三の企業に委託することで実現するという、物流業務形態のひとつ。

3 沿革

創業期	1963年 陣内正幸が1人で操業 1969年 一般小型自動車運送免許	東京オリンピック (1964)
第一次成長期	1972年 一般区域貨物免許 1975年 法人設立 有限会社陣内運送 1983年 陣内正明 社長就任 (27歳) 1985年 自らトラックに乗り長距離輸送を行う	第1次石油ショック (1973) 消費税3% (1989)
低迷期	1991年 バブル崩壊により、荷主の倒産が相次ぎ、チャーター契約からスポット契約へ切り替えられ、下請けの仕事が続く	物流二法の規制緩和 (1990) アメリカでSCM ² 興隆 (1990) 運送事業者数 <u>40,072社</u>
第一次変革期 下請けからの脱却	1995年 リビズ (協) 配送受注 1998年 車両台数 <u>31台</u>	3PLの到来 消費税5% 運送事業者数 <u>52,119社</u>
第二次成長期 運送から物流へ	2000年 佐賀市諸富町に1000坪倉庫借用 九州・関西・甲信地区の定期便開始 2005年 株式会社に組織改変 2006年 グリーン経営認証 2011年 ニトリと運送契約 2012年 家具宅配事業開始 2013年 タマリビングの業務開始 (3PL) 2014年 マナビインテリアハーツの業務開始	原油 <u>30\$/バレル</u> 点呼時アルコール検知の義務付 燃料価格の高騰 原油 <u>100\$/バレル</u> 規制緩和による新規参入 消費税8%
第二次変革期 攻めの経営へ	遺品整理事業開始 2015年 本社移転、物流倉庫拡大2,400坪	高速道路におけるETC割引縮小 運送事業者数 <u>62,905社</u>
将来に向けての新事業開発、投資、社内体制構築を進める	2016年 動態管理システム導入 2017年 ネット販売会社との契約 2018年 大川市に660坪の倉庫賃貸 車両台数 <u>15台</u>	合理的・効率的な配車運行により 車両台数の減少を実現

² SCM (サプライチェーン・マネジメント) …供給業者から最終消費者までの業界の流れを統合的に見直し、プロセス全体の効率化と最適化を実現するための経営管理手法

4 私たちの価値観



お客様に対する基本姿勢

物流パートナーシップカンパニーを目指し、荷主様にとってのオンリーワン企業を目指します。

- ① お客様とWIN-WINの関係を創りあげます。
- ② お客様の要望に100%応え、さらに感動を与えるサービスを実践します。
- ③ お客様のお役に立つべく、社員一丸となり全力でやり遂げます。
- ④ お客様に合った提案型サービスを追求します。
- ⑤ お客様に満足頂ける様、私たちは成長し続けます。

社員さんに対する基本姿勢

社員さんは財産です。社員さんのたった一度の人生を預かっている以上、会社には社員さんを幸せに導く義務があります。社員さんの物心両面の豊かさを追求します。

- ① 働きがいのある職場にし、働く事の楽しさ、喜びを創りあげます。
- ② 年齢に関係なく働ける会社にし、終身雇用を目指します。
- ③ 人に光を当て、一人ひとりが成長するキャリアアップを推進します。
- ④ 『一人はみんなのために、みんなは一人のために』共に援助しあう温かい人財を育てます。

6 私たちを取り巻く環境

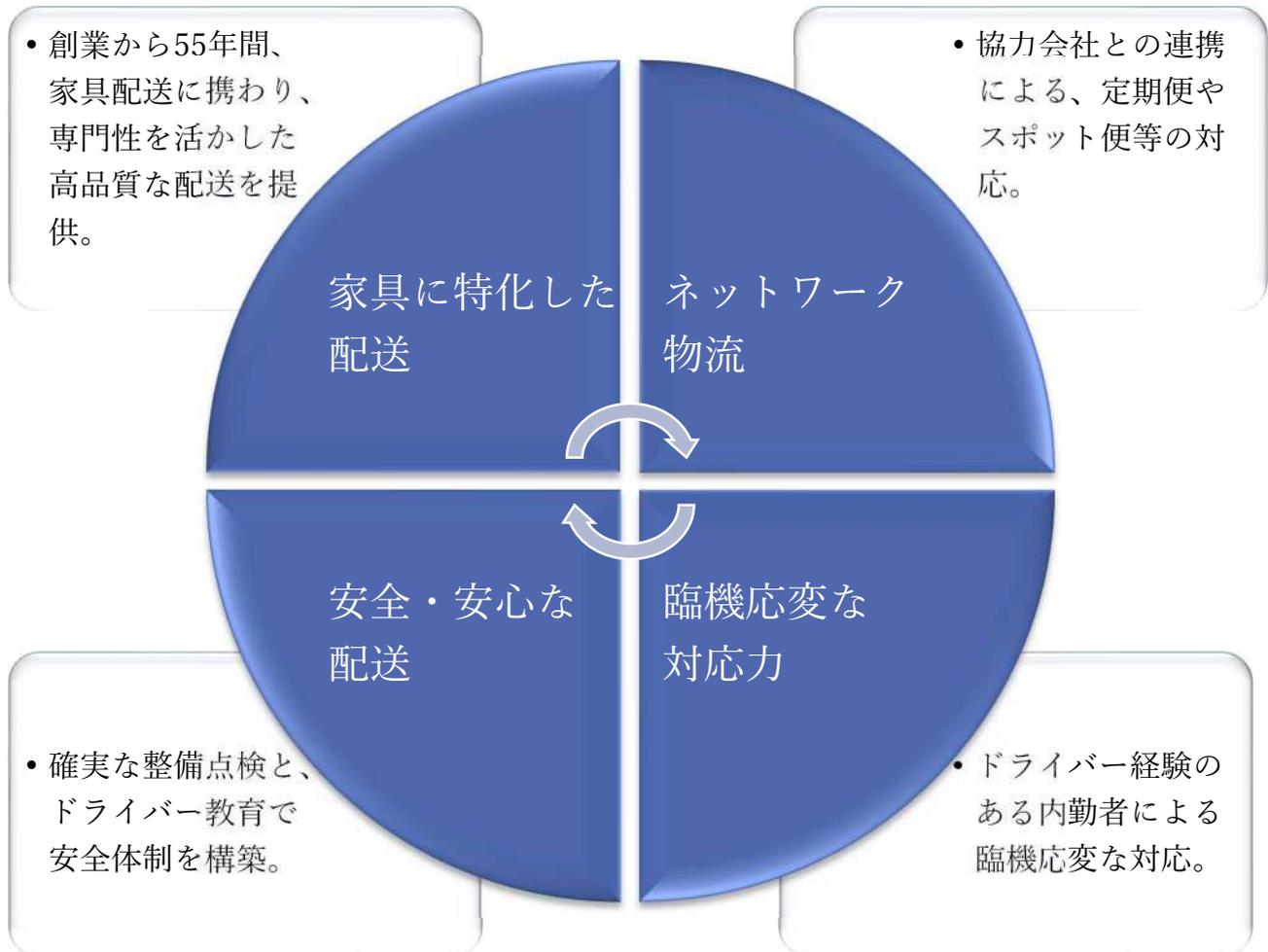
運送業界は、典型的な労働集約型の業種と言われており、これまではその労働力を、中高年の男性労働者に大きく依存してきました。

これからの運送業界は、インターネットサービスの普及による小口運送の増加等でさらに輸送需要は増加する一方で、団塊の世代の引退や、運転免許制度の改正等でますます人材確保が難しくなることが予想されます。

人員	2020 年度	2030 年度
需要量	1,030,413 人	954,443 人
供給量	924,202 人	872,497 人
過不足	▲106,211 人	▲85,946 人

時代が目まぐるしく変化していく中で、その変化に対症療法的に対応するだけでなく、時代を読み、自社の強み（よかところ）を最大限に発揮して、積極的にイノベーションを起こす必要があります。

7 お客様への提供価値



株式会社陣内運送の価値ストーリーサイクルは、創業から築き上げた専門性の高い輸送体系の構築の上で成り立っており、協力会社と連携しお客様へのご要望にお応えし続けています。

男性社員は90%以上がドライバー経験のある人財です。現場の事を理解した上で営業や倉庫作業を行っていますので、常にお客様意識を持って仕事をする社風があります。

安全・安心を目指す上で、欠かせないのが管理体制です。車両整備、ドライバー管理ができる体制を整え、指定日にお届けする当たり前の事を徹底しています。

お客様からの「ありがとう」が私たちの喜びです。

8 私たちの「よかところ」

(1) 人的資産（人そのもののよかところ）



有能な営業

自社だけではなく、お客様目線での営業やサービスの開発を通し、地域活性化を図っています。

マーケットドライバー

お客様と一番接するドライバーさんが、あらゆる情報を現場から収集し、自社サービス強化とお客様満足度向上を図っています。



物流経営士

愛知県の物流大学で1年間学び、全日本トラック協会の認定を受けた物流経営士が、経営強化に取り組んでいます。



運行管理者

同規模企業水準を上回る4名の国家資格者が、日々の安全な運行に努めています。



安全優良ドライバー

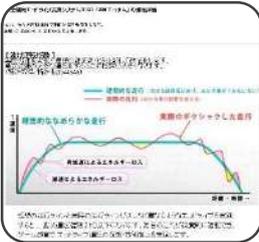
無事故無違反・交通安全への意識が高く、延着等への対応も迅速に行っています。

(2) 組織・技術資産



顧客別システムによる管理体制

受注から入荷・出庫、輸送・荷降ろしまで、他社にはないオンリーワンの顧客別システムにより、大手との取引を可能にします。



安全のための技術投資

デジタルタコグラフや安全運転システム「ECO-SAM」を導入し、毎月、優秀ドライバーには表彰を行い報奨金を支給しています。



定年制の廃止

社員さんの「働きたい」という思いを大事にするため、定年制を廃止しました。

国「高齢者雇用開発コンテスト」
陣内運送(諸富町)大臣賞

定年を撤廃し新事業創出

高齢でも働ける職場づくりを進めている新事業を表彰する国の「高齢者雇用開発コンテスト」で、佐賀市諸富町の陣内運送(諸富町正明社)が雇労働者(特別賞)を受けた。人手不足や雇用の減少を克服するため、定年制を撤廃して高齢者に事業を拡大。ベテラン社員がノウハウを生かせる職場を築き、経営の多角化につなげている。

同社の社員30人のうち、人材確保が難しくなると、60歳以上は「人」ではなく、社員の高齢化も進んだ。北原重信(とんで)ドラッグ(消費生活)などで主力のイパーの運行経路や荷受、客員ドライバーからの委託を受け手続などの内勤業務が増える中、伸長する遠征作業などから高齢者を預かる作業で若手の指導も務め、検査と人脈をどう活用するか、体力が衰える危険業務の門を新たに立ち上げ、経験を伝えている。全国に配属された、長時間労働のイメージになった高齢社員が業務に強い運転手を中心とする。基本的には60歳以上もフルタイム(8時間)が短時間勤務も認められている。

「知識と経験は財産」

創業53年で、陣内社長は「先人の父のときから長く勤めてきた人も多く、その経験や知識は会社の財産。健康な限り仕事を続けてほしい」と語る。10年前に始めた遠征配車代行サービスでもベテラン社員が中心で、コンテストは、雇労働者や求職者雇用支援機構が主催。陣内からはこのほか、佐賀市で特別高齢者人々11名を支援する協会(佐賀市)理事長影山孝一(60歳以上)が全国約200人の表彰を受け、表彰目録の職歴改正プロジェクトに高齢社員も参加している。100名を生産現場で働ける環境を整えていくことが目標とされている。(口大輔)

長年勤めて得た技術、知識を若手社員に指導していただくことで、若年層の育成を図ります。

高齢者でも、できる仕事を創っていくことが新商品の開発に繋がり会社と社員さんの WIN-WIN の関係が出来上がります。

2016年10月18日 佐賀新聞

(3) 風土資産



学ぶ風土

経営誌を活用した勉強会を月に1回開催し、自由闊達な意見交換を行っています。

高い定着率

風通しの良い働きやすい環境を整えることにより、勤続年数10年以上の社員さんが15名います。

トピック～遺品整理事業～

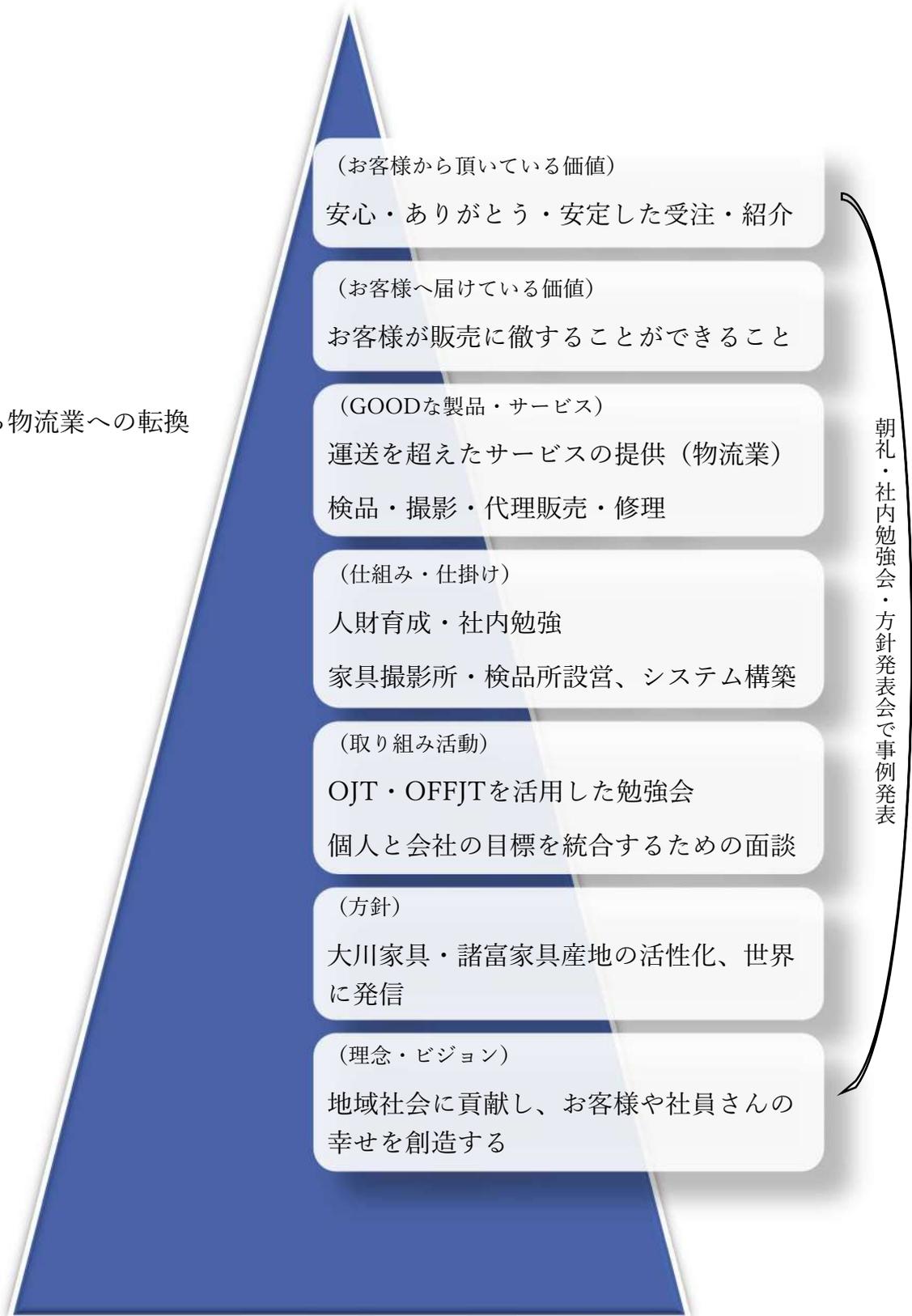


長距離ドライバーを卒業した高齢の社員さんの新たな仕事になるよう、家具の取り扱い技術や安全な倉庫といった私たちの「よかところ」を活かして、遺品整理事業を立ち上げました。

昨今の社会問題である日本の家族構成の変化（核家族化）により、法令で求められている一般貨物運送免許を持たない事業者が参入していますが、私たちは免許は当然のこと、佐賀県で最初に遺品整理士の認定を取得し、“遺品整理業”を十分に理解し、さらに“供養”に対する認識を持ち、想いのこもる品々を取り扱う専門家として、事業を行っています。

9 将来の価値ストーリー

運送業から物流業への転換



10 私たちの責任

お客様への貢献

B to B

○
B to C

地域への貢献

協力会社

○
陣内運送



人的資産

組織・技術資産

風土資産

私たちの「よかところ」

中小企業である私達は、お客様のお役に立ち、そして地域社会に貢献することが使命だと思っております。今後も更にイノベーションを積み重ね、お客様や地域になくてはならない会社へと成長していきます。